

中ノ口川さわやか文化祭

「広報つきがた」6月号で紹介しました、中ノ口川さわやか文化祭が11月29日、30日の2日間にわたり開催されます。

この文化祭は、新潟地域広域市町村圏協議会白根ブロックを構成する白根市・月瀨村、味方村、中之口川の1市3村の共同事業で、各市村を会場に、それぞれの部門に分かれ開催します。中ノ口川さわやか文化祭の内容を紹介します。

開催日時

11月29日(土)～11月30日(日)
※両日とも午前9時から午後5時まで

出展会場

- ・日本画……………白根市カルチャーセンター
- ・美術工芸、陶芸、手芸……………味方村民体育館(柔道場)
- ・書道……………中之口村農村環境改善センター
- ・洋画、写真……………月瀨村農村環境改善センター

市村長パネルディスカッション

30日 午後1時から2時30分

文化講演会

講師「藤本義一」先生
30日 午後2時45分から4時15分

※期間中、各会場を結ぶシャトルバスを運行しますのでご利用ください。

月瀨村シユニアリーター研修

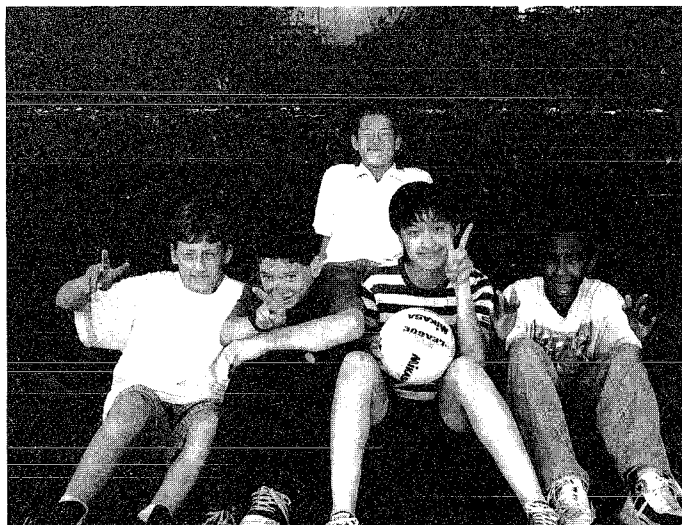
7月20日から21日間 カリフォルニア大学
サンタクルース校に英語研修

海外研修を終えて

小林 聖奈

私は、この3週間の海外研修で決して文法が強くなったわけでもなければ、とても沢山の単語を覚えることができたわけではなかった。しかし、日常英語を話すことによって、英語に對する態度を変えることができた。し、自信を持つことができた。そして、色々な体験ができ、経験ができ、そして日本とアメリカの違いをはっきりと見る事ができた。

▼キャンパス内で学友らとハイポーズ



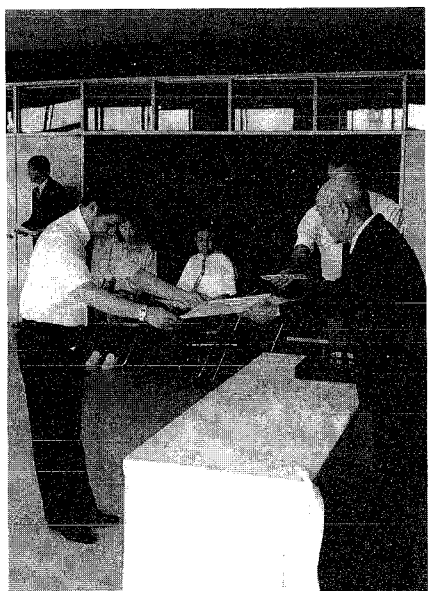
私は、驚かされたことが幾つかあった。その中で、私の日本での生活の中では決して経験したことのないことに出会ったのだ。大学の中で野生の鹿を見る事ができた。リスもいた。ある朝、友達とバスケットをする為に6時頃に外に出ようとした

シンボルマーク決定

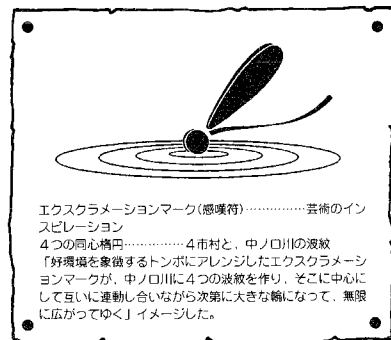
先に募集してありました中ノ口川さわやか文化祭のシンボルマークが、8月21日の実行委員会で決定しました。応募総数は23点で、どの作品も中ノ口川を挟んだ4市村のさわやかな交流をイメージした力作がそろい、審査を難航させました。

それでも26人の実行委員の厳選なる審査の結果、西蒲原郡巻町の内藤悦男さんの作品が最優秀賞に輝き、賞金5万円を手にされました。

- その他4作品
- 吉田町 宇佐美憲一さん
 - 白根市 三宅 一也さん
 - 燕市 信貴 正明さん
 - 白根市 大矢 定二さん



▲金子会長から賞状をいただく内藤悦男さん



エクスクラメーションマーク(感嘆符)……………雲雀のインスピレーション
4つの同心楕円……………4市村と、中ノ口川の波紋
「好環境を象徴するトンボ」にアレンジしたエクスクラメーションマークが、中ノ口川に4つの波紋を作り、そこに中心にして互いに連動し合いながら次第に大きな輪になって、無限に広がってゆくイメージした。

応募のあった作品23点は、11月29日、30日の両日、白根市カルチャーセンター会場に展示しますのでご覧ください。
※中ノ口川さわやか文化祭の作品募集要領はお知らせページ(P14)をご覧ください。

〔最優秀賞〕内藤 悦男さん



〔入選〕宇佐美憲一さん

「中ノ口川さわやか文化祭」を通して白根市・味方村・月瀨村・中之口川のそれぞれの文化の交流の広がりの中ノ口川の悠々とした流れをイメージしてデザインしたものです。



〔入選〕三宅 一也さん

①西側の黒い丸は、白根市・味方村・月瀨村、中之口村を示している。
②中央の黒い帯び状の線は、中ノ口川を示している。
③白い円は、地球を示している。
④全体では、中ノ口川をコアに、白根市・味方村・月瀨村・中之口村が一つの流星になり、地球から未来へ向かって行く様子をイメージしている。



〔入選〕信貴 正明さん

中ノ口川のNと4市村を表す4つの円がモチーフ。
4市村の未来に向かう姿と文化祭の向上と発展をイメージしてデザインしました。



〔入選〕大矢 定二さん

「文化、平和の象徴未来へ翔く鳩をイメージしました。
鳩の胴体が洋々と流れる中ノ口川で一枚羽が白根市で対岸の三枚羽が各々中ノ口村・月瀨村・味方村で一市三村の交流、まとまりを表わしました。

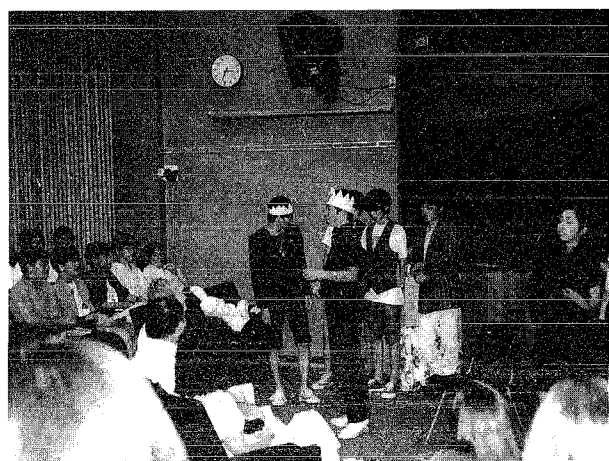
時、窓から一頭の大きな鹿のぞきこんでいた。「あつたいる。」と思いつながら、外へ出てみて驚いた。なんと8頭もいたのだ。毎年この研修に参加している先生に話してみたら「私もそんなに沢山一度に見たことない。」と言って驚かれた。

ライندگانスというのを習った。これも一応、研修の一貫だった。外でやったのだが、さらに場所がバスケットコートの上とあって、本当に暑かった。この日、とても天気が良くて日焼けもすごかった。

大学は、とても広くて、大学内をバスが走っているくらいだった。テニスコートは8面あったしバスケットコートは1面、ビーチバレーのコートは2面、プールに体育館、とても良い設備だった。私は授業が終わるといつも仲間や一部の先生、外国人の子供や大人とバスケットをしていた。その子供達は、いつも3人である男の子だった。とても楽しい子供達でいつも笑わせてくれた。そのうちの一人の子は、バスケットがとても上手く、私がバスケット部だということを知ったら、ワンハンドのシユートを教えてくれたりした。

ビーチに行ったりリモントレイへ行ったり、ダウンタウンへも行った。シグレイトアメリカにも行った。他にも沢山の所へ行った。どこも、見たことのないものばかりで興味を持ち、真剣に見た。

最後の授業の日の後に、卒業式とサヨナラレセプションをやった。クラスは全部で8クラスあったのだが劇をするクラスもあれば歌を歌うところもあった。卒業証書は、各クラスの先生から手渡された。みんなそれぞれが卒業(別れ)を実感していたのだと思う。その後のパーティーで皆それぞれ、住所を聞いたり、教えたりの、この3週間のことについてはなしたりしていた。最後にみんなで蛍の光を歌った。歌い終わった後、すぐに寮に戻らなくてはいけなかったのだが、皆別れを惜しみ、なかなか戻れなかった。帰国の日。朝5時出発だ。朝5時といっても、まだ真っ暗



▲さよなら・レセプションの様子